

9期 知らなかった あんな話 こんな話科

～そして生きがい再発見～

第2回講座 令和3年4月22日 豊中市地域共生センターにて
学習テーマ 大阪弁の秘密 *オノマトベ・「知らんけど」を中心に*
講師 金水 敏 先生 (大阪大学教授)

内容

オノマトベ・「知らんけど」が本日の講座の中心

①. 「オノマトベって何？」

オノマトベの意味は擬音語・擬態語の類を多用する。

擬音語：対象となる聴覚印象を言語音で表したもの

(例：カーカー、ぼちゃん、ひゅーひゅー等)

擬態語：対象物の運動・変化の有様や様子 (主として視覚的な刺激)

(例：ぐずぐず、うろうろ、ぶらぶら等)

擬情語：感情、体内間隔等、聴覚や視覚で捉えられない変化や様子を言語音で表したもの (例：はらはら、ぞくっと、しくしく (痛い))

確かに大阪の人はよく使いますねー

②. 「知らんけど」の謎

大阪人は知りもしないことを口にしておいて、「知らんけど」とうそぶくのか。

- ・その背後には「会話は楽しむもの」という歴史的に形成された哲学と、練り上げられた「会話の型」が存在する

ものの言い方は地域 (西東) によって違っている！！



金水 先生



ソーシャルディスタンスを取っての授業風景